



カレーライス物価指数って？

◆ 1食当たりのコスト示す / 11カ月連続で最高値更新

Q - 「カレーライス物価指数」って何のことかな。

A - 民間調査会社の帝国データバンクが独自に計算し、毎月10日に発表しています。カレーの調理に必要な原材料や光熱費などの価格（全国平均）を基に、カレーライス1食当たりのトータルコストを示す値です。ジャガイモ、人参、玉ねぎ、輸入牛肉といった具材のほか、カレールーや食用油、コメなどの原材料、さらに炊飯器での炊飯やガス調理などに必要なエネルギーなどの水道光熱費も合わせて算出しています。年齢、性別問わず人気のあるメニューから物価の食卓への影響をみることができます。

Q - 他にも身近なメニューを指標としたものはあるの。

A - 「カレーライス物価指数」と観点は異なりますが、メニュー価格を指数化したものには、英国の経済誌「エコノミスト」が発表するビッグマック指数やスターバックス指数があります。ビッグマック指数は各国のマクドナルドで販売されているビッグマックの価格を比較しています。スターバックス指数は、スターバックスで提供されているトールサイズのミルク入りエスプレッソコーヒーの価格を見ることから、トール・ラテ指数とも呼ばれています。世界各国で同じメニューが提供されているため、為替レートの水準や各国通貨の購買力を比較できると言われています。

Q - カレーライス物価の動きはどんな感じ。

A - 4月10日に発表された2025年2月のカレーライス物価は1食407円と、11カ月連続で最高値を更新しました。比較可能な15年1月以降で初めて400円を超えており、大幅に価格が高騰したコメのほか、ジャガイモや人参、輸入牛肉が高値で推移したことが要因のようです。今後は政府が備蓄米を放出したことでコメの価格が下がる期待はありますが、輸入牛肉はトランプ関税の影響を受けて上昇する可能性があること、政府による電気・ガス代の負担軽減策が3月で終了したことから、まだまだ上昇すると予想されています。身近なメニューにもさまざまな経済の動きが影響していて面白いですね。

(この連載は北陸経済研究所の吉田聡子が担当しました)

